

平成20年度事業評価書（事後）要旨

評価実施時期：平成20年8月

担当部局名：職業安定局若年者雇用対策室

事業名	キャリア探索プログラム等による職業意識啓発の推進																																					
政策体系上の位置付け	基本目標Ⅳ 経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること 施策目標3 労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること 施策目標3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること																																					
事業の概要	公共職業安定所が産業界と連携し学校において実施している、キャリア探索プログラム、ジュニアインターンシップ等中高校生等を対象とした職業意識形成支援事業について、対象校の拡大、職場体験活動に係るコーディネート機能の充実等拡充を図るため、以下のとおり実施する。 ア 企業人等の講師派遣等による学校内での職業指導の拡充 イ 職場体験活動等の拡充																																					
施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等	【評価結果の概要】 (1) 有効性の評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 有効性の評価 近年、未内定のまま学校を卒業する者、及びフリーターの数が減少し、離職率についても、在学中における職業意識形成の成果と密接な関係があると考えられる就職後1年目の状況に改善傾向が見られるところである。このことは、本事業の実施によって、在学中の早期から働くことの意義、職場のルール、仕事の実態等に対する理解を深め、適性に即した職業選択・就職の実現と早期離職による失業、フリーター・ニート化の防止が図られたこと等の効果が大きいと評価できる。 </div> (2) 効率性の評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 効率性の評価 本事業は、地域の産業・企業において働く者等の協力を得ることにより、具体的な職業理解を促すことができるため、費用的にも効率的である。 また、参加生徒数の実績を見ると、予算を縮小しているにもかかわらず、平成17年度以降40万人超で推移しており、未内定卒業者数、フリーター数ともに減少を続けていることから、効率的な運用がなされているものと評価できる。 </div>																																					
	(政策等への反映の方向性) 評価結果を踏まえ、平成21年度予算概算要求において所用の予算を要求する。 (概算要求額:78百万円) 【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】 <table border="1" data-bbox="360 1413 1445 1765"> <thead> <tr> <th colspan="6">アウトプット指標 (達成水準/達成時期)</th> </tr> <tr> <th colspan="6">※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 キャリア探索プログラム等 開催回数(単位:回) (-)</td> <td>1,438 【-%】</td> <td>2,958 【-%】</td> <td>4,352 【-%】</td> <td>4,028 【-%】</td> <td>4,282 【-%】</td> </tr> <tr> <td>2 キャリア探索プログラム等 参加生徒数(単位:人) (40万人以上/平成19年度)</td> <td>198,259 【-%】</td> <td>330,676 【-%】</td> <td>434,109 【-%】</td> <td>403,661 【135%】</td> <td>403,423 【101%】</td> </tr> <tr> <td>3 ジュニアインターンシップ 参加生徒数(単位:人) (-)</td> <td>92,179 【-%】</td> <td>94,763 【-%】</td> <td>103,629 【-%】</td> <td>59,140 【-%】</td> <td>73,300 【-%】</td> </tr> </tbody> </table> (調査名・資料出所、備考) 資料出所：各都道府県労働局からの報告(職業安定局調べ)による。 備考：教育行政や産業界と連携・協力の上で、総合的な学習の時間等を活用し実施するものであり、事前に目標設定することは困難であることから、指標1及び3は目標設定していないが、指標2については、目安として数値設定して実施した。			アウトプット指標 (達成水準/達成時期)						※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)							H15	H16	H17	H18	H19	1 キャリア探索プログラム等 開催回数(単位:回) (-)	1,438 【-%】	2,958 【-%】	4,352 【-%】	4,028 【-%】	4,282 【-%】	2 キャリア探索プログラム等 参加生徒数(単位:人) (40万人以上/平成19年度)	198,259 【-%】	330,676 【-%】	434,109 【-%】	403,661 【135%】	403,423 【101%】	3 ジュニアインターンシップ 参加生徒数(単位:人) (-)	92,179 【-%】	94,763 【-%】	103,629 【-%】	59,140 【-%】
アウトプット指標 (達成水準/達成時期)																																						
※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)																																						
	H15	H16	H17	H18	H19																																	
1 キャリア探索プログラム等 開催回数(単位:回) (-)	1,438 【-%】	2,958 【-%】	4,352 【-%】	4,028 【-%】	4,282 【-%】																																	
2 キャリア探索プログラム等 参加生徒数(単位:人) (40万人以上/平成19年度)	198,259 【-%】	330,676 【-%】	434,109 【-%】	403,661 【135%】	403,423 【101%】																																	
3 ジュニアインターンシップ 参加生徒数(単位:人) (-)	92,179 【-%】	94,763 【-%】	103,629 【-%】	59,140 【-%】	73,300 【-%】																																	
関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004	年月日 平成16年6月4日	記載事項(抜粋) 小・中学校段階から職業に関する教育を地域の協力も得て充実するとともに、高校段階においては、より具体的な職業観の確立を目指した教育を強化する																																			